



HELLO
IT'S A
NEW
DAY

ダスキン公式ウェブサイト
www.duskin.co.jp



こんにちは 新しい毎日。

あたりまえに過ぎていく毎日。
だけど、かけがえのない日々は、
一日一日を丁寧に積み重ねることから生まれるもの。

だからこそダスキンは、
お客様の暮らしのすぐそばで寄り添い、
支えることを大切にしたいのです。

“ 一日一日と今日こそは
あなたの人生が(わたしの人生が)
新しく生まれ変わるチャンスです ”

このダスキンの経営理念の一節のように、
何気ない一日を「新しい毎日」に。
そして、今日や明日、続く未来へ
ワクワクした気持ちを持てるように。

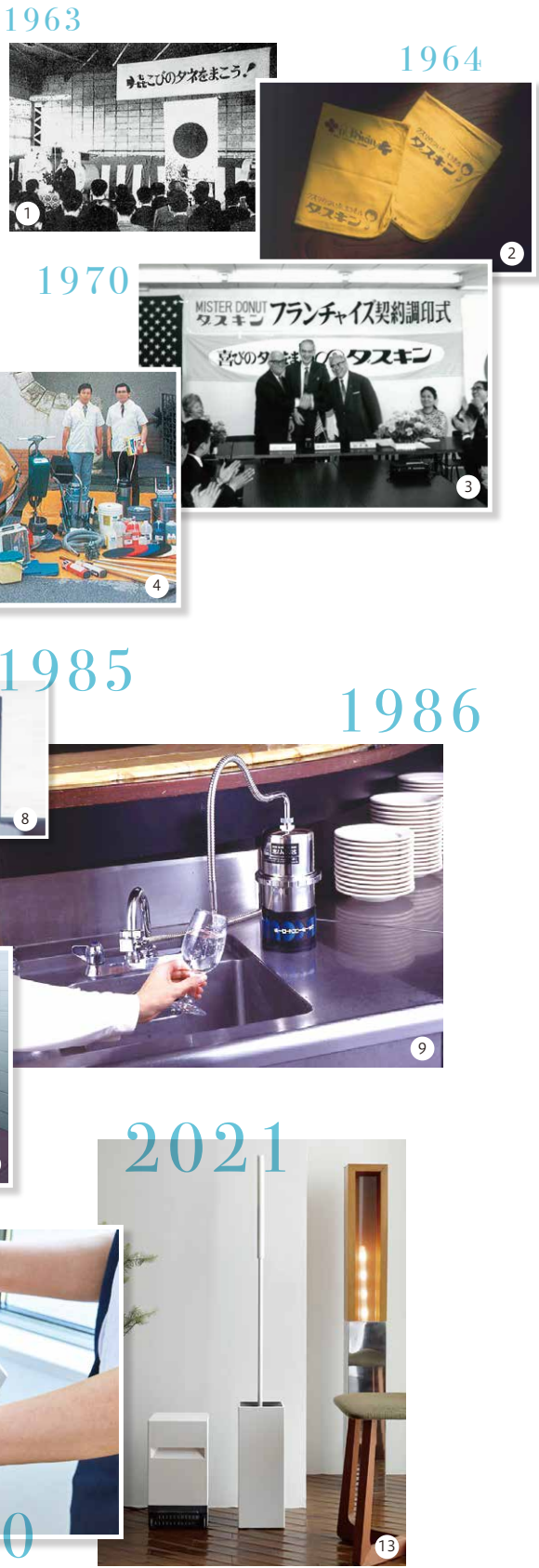
自由で柔軟な発想から、新しい豊かさを生みだし、
幸せな瞬間をつくりだしていく。
人や暮らしに“喜びのタネをまこう”。
それが、私たちダスキンの使命です。

DUSKIN
喜びのタネをまこう

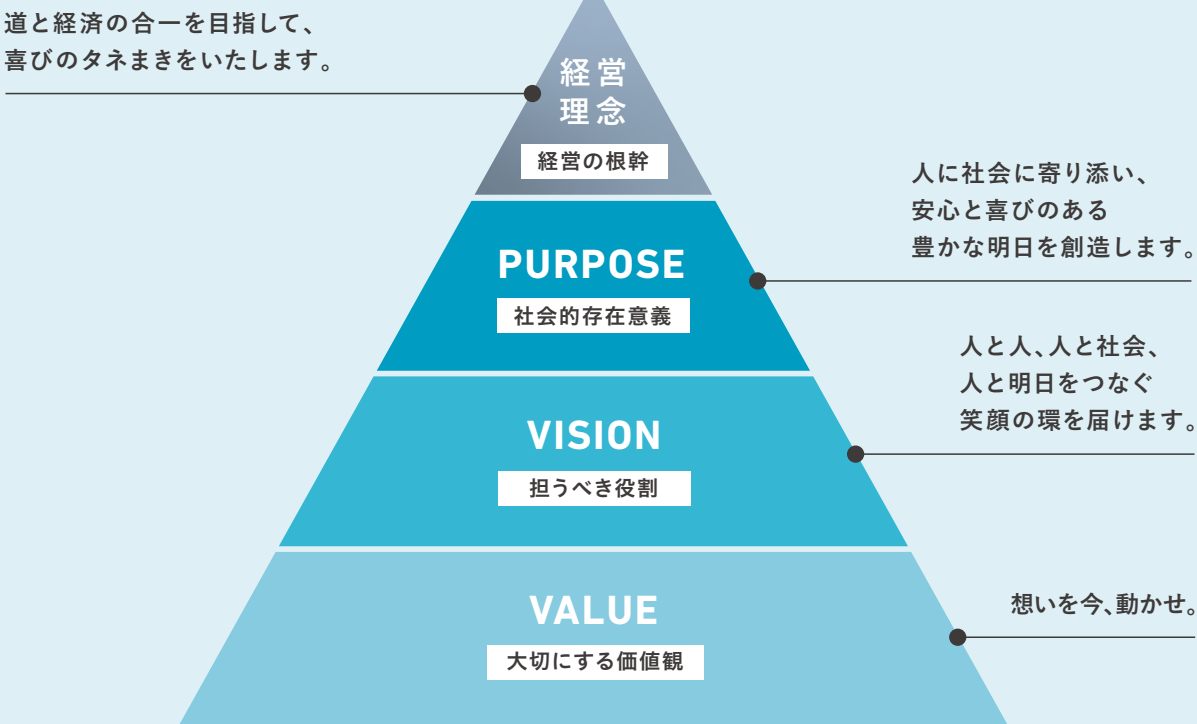


チャレンジとアイデアで「新しい毎日」を未来へとつなげる。

いつもお客様の声に耳を傾け、
まだ世の中になかった商品・サービスを次々にカタチにする。
ダスキンの歩みは、失敗を恐れずに
“挑む”という姿勢から始まっています。
チャレンジを通じて、誰にとっても喜びのある
「新しい毎日」をお届けしたい。
未来への歩みを止めることなく、
ダスキンはこれからも挑み続けます。



新たなパーパス・ビジョン・バリューを策定 ダスキンは次のステージへ



ありたい姿を目指し、ビジョンを実現するための 長期経営戦略「Do-Connect」(2025年4月～)

ダスキンは、あらゆる人の安心と喜びのある豊かな人生のお役に立てよう、「人と人」「人と社会」「人と明日」をつなぐ存在を目指します。ロゴマークには、「四つ葉のクローバー」をあしらひ、ビジョンで掲げる3つのつながりをそれぞれオレンジ・緑・黄の3色で表現。さらにダスキンの企業ロゴマークに使用されている赤色を加え、クローバーマークを構成しています。



1:1963年11月/ダスキン創業。生産拠点「吹田工場」開設 2:1964年10月/初の家庭用ダストコントロール商品「ホームダスキン」全国発売 3:1970年5月/ミスタードーナツ・オブ・アメリカ社との事業提携契約に正式調印 4:1971年1月/プロのお掃除を提供するサービスマスター事業がスタート 5:1971年4月/ミスタードーナツ第1号実証パイロットショップがオープン 6:1971年9月/機能性に優れた家庭用モップ「ダスキンハイモップ」発売 7:1978年10月/家庭用の趣味・旅行・ベビー等の用品をレンタルするレントオール事業国内1号店をオープン 8:1985年4月/ダスキン初の空気清浄機「くうきばん」を発表。定期的にフィルターを交換しメンテナンスを実施 9:1986年8月/ダスキン初の浄水器「おいしい水」を発売 10:1991年10月/男性用小便器の自動洗浄装置「ビューティークリーン」全国発売 11:1999年2月/とんかつレストラン かつアンドかつ第1号紫金山公園店がオープン 12:2020年11月/富士フイルム株式会社と共同開発した洗浄・除菌・抗菌ができる「TuZuKu持続除菌洗浄剤」を発売 13:2021年3月/シンプルでコンパクトな清掃用具「MuKu」シリーズ全国導入

新たなパーパスとビジョンの 実現に向けチャレンジを続ける。



株式会社ダスキン
代表取締役 社長執行役員

大久保 裕行

私たちはこれまで長期戦略「ONE DUSKIN」を掲げ、さまざまな挑戦に取り組んでまいりました。ダスキンは、マット・モップのレンタルや役務サービスなどの事業を中心とする「訪販グループ」、ミスタードーナツ事業を中心とする「フードグループ」で多彩な事業を展開してきました。そして、フランチャイズ加盟店と本部が、結束を強め事業活動を行ってきたからこそ、激しく変化する社会情勢の中で着実に成長を続けることができました。

今後も少子高齢化など社会環境の変化が急速に進んでいきます。そのような中、さらなる持続的成長を目指して、新たなパーパスとビジョンの策定を行いました。私たちの存在意義であるパーパスは「人に社会に寄り添い、安心と喜びのある豊かな明日を創造します。」とし、その実現のための担うべき役割であるビジョンは「人と人、人と社会、人と明日をつなぐ笑顔の環を届けます。」と定義しました。これは、ダスキンの未来を担うべき中堅社員を中心に構成されたプロジェクトメンバーと経営陣が、議論を重ね策定したものです。

議論の中で「私たちは、なぜダスキンで働くのか」を徹底して考えました。その想いや存在意義を言葉として表現し、さらにそれらをグループ内に浸透させるという一連のプロジェクトにおいて、主体的に取り組み力を発揮してくれたのは、プロジェクトメンバーに他なりません。そして「想いを今、動かせ。」という大切にしたい価値観を打ち立て、ビジョンを実現するための長期経営戦略を具体的な行動に落とし込むべく、精力的に活動してくれています。

10年後を見据えた 長期経営戦略「Do-Connect」(2025年4月～)

私たちはパーパス・ビジョンの実現に向けて、次の10年を見据え「Do-Connect」という長期経営戦略を打ち立てました。「Connect」は“つなぐ・つながる”を意味しており、

「Do」はそのことを必ず実行するという強い意志を表しています。オンライン空間で人がつながる機会は増加する一方で、リアルな場でのつながりが希薄になる傾向は、今後も益々加速していくことが予想されます。地域に根差したフランチャイズ事業を主業とする私たちは、これまで構築してきた「ONE DUSKIN」からさらに一歩踏み込んだ活動を展開したいと考えています。

変化に対応する3つの「シン化」

この数年だけを見ても、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大やデジタル技術の革新、原材料価格の高騰や最低賃金の引き上げ、高齢化率上昇など、社会の変化は目まぐるしく、今後もより短期間に絶え間なく変わり続けることを予想しています。

どのような状況にあっても変化に対応するため、長期経営戦略では「新たな事業への新化」「周辺事業への進化」「既存事業の深化」の3つの「シン化」への挑戦に取り組むことを掲げています。既存事業をさらに成長させるとともに、新たな価値を創造することこそが、フランチャイズ本部としての使命です。さらにこの「シン化」への挑戦には、スピード感や柔軟性が欠かせないため、挑戦する人材の育成とそれを後押しする企業風土の醸成にも取り組んでまいります。

すべての根底にある経営理念の実践

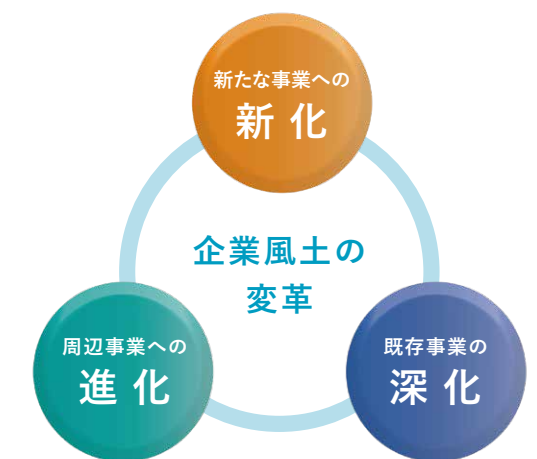
創業60周年を経て、次なる10年に向かって邁進していくうえで、新たなパーパスとビジョンを打ち立てましたが、こうした新たな考えや価値観の根底には、創業以来守り続けてきた経営理念があります。

人に、社会に、「喜びのタネまき」を実践し、「社会価値向上」と「経済価値向上」の双方を実現する「道と経済の合一」を追求する。この変わらぬ理念を、加盟店と従業員とともに継承しながら、新しい価値を創造するという「挑戦」を続けていきたいと思います。

長期経営戦略

Do-Connect

ビジョン実現に向けた長期経営戦略をもとに、
企業風土の変革と3つの「シン化」に挑戦すること
で、さらなる成長を目指します。



新たな事業への 新化

社内に限らず社外リソースも積極的に活用することによって、社会課題を解決する新たな事業を開発し、社会価値を創造する。

周辺事業への 進化

既存事業の変革によって、豊かで安全・安心な暮らしを実現する新たな事業領域へ進出し、顧客への新たな価値を創造する。

既存事業の 深化

既存事業において多様な先進的技術を活用することによって、顧客が求める商品・サービスを迅速かつ柔軟に提供し、顧客にとっての価値を高める。

今も、生き続ける創業者の想い。

ダスキンが最も大切にしている、
お客様への「やさしさ」。
その原点は、「祈りの経営」を生涯追求した
創業者・鈴木清一の思想にあります。
「利益は喜びの取引から生まれるもの」として、
お客様の喜びを第一とする創業者の想いは、
経営理念というかたちで
大切に継承され続けています。



ダスキン創業者
鈴木清一

1911年(明治44年)、愛知県碧南市に生まれる。1938年、一燈園に身を投じ托鉢求道の生活に入る。1944年、ケントクを創立。以後「道と経済の合一」を願う「祈りの経営」について生涯を通じて追求。1963年、ダスキン創業。日本初の複合フランチャイズ企業の道を開く。1980年、68歳で永眠。

創業者
ストーリー



祈りの経営ダスキン 経営理念

一旦一日と今日こそは

あなたの人生が(わたしの人生が)

新しく生まれ変わるチャンスです

自分に対しては

損と得とあらば損の道をゆくこと

他人に対しては

喜びのタネまきをすること

我も他も(わたしもあなたも)

物心共に豊かになり(物も心も豊かになり)

生きがいのある世の中にする

合掌

ありがとうございました

経営理念は、現在も毎日唱和され、確認され続けています。
フランチャイズに加盟する際も、ダスキンへ入社する際も、この
経営理念に賛同していることが条件となっています。

※創業者・鈴木清一(1976年元旦、中之島公会堂前にて)

確固たる**経営理念**に基づき
フランチャイズという仕組みで
祈りの経営の実現を目指します。

経営理念 4つのステップ

1 日々、「新しく生まれ変わることを」願います

経営は経営者のものだけでなく、
経営の参加者として社員一人ひとりが自己変革を目指します。

2 人間性を何よりも大事にします

利益が生じるとき、自分の立場からはあえて
「損の道を行くこと」を選びます。

3 人に本当に喜んでもらえることを進んで行います

相手に対しては「喜びのタネをまくこと」。
ダスキンの各事業は、この精神の実践です。

4 人のために尽くし、お互いが生きがいを持てる 世の中にするを願って行動します

「心の豊かさ」は、集めるのではなく、人に捧げることです。

理念を実現するための**フランチャイズ**

ダスキンの理念に賛同していただける方々に、ダストコントロール事業をビジネスチャンスとしてほしいとの思いから、フランチャイズシステムを導入。
この仕組みによって、経営理念が加盟店にまで脈々と受け継がれ、ダスキンに携わる一人ひとりが同じ想いで経営を支えることを可能にしています。



1964年 ダスキンフランチャイズチェーン
全国加盟店研修会

祈りの経営

一人でも多くの人に、 「喜びのタネ」をお届けしたい。

人に、暮らしに、街に、「やさしさ」と「喜び」をお届けするために、
お客様一人ひとりの想いにしっかり寄り添い、きちんとお応えする。
それがずっと変わらない、ダスキンのスタイルです。



寄り添う

お客様のもとに、商品やサービスを提供するだけでなく、お困りごとをお伺いしたり、一歩先のご提案を通して、お客様の想いにしっかり寄り添います。

つくる

お客様の暮らしをみつめ、声に耳を傾け、柔軟なアイデアで商品・サービスをカタチにしています。もっとお客様に喜んでいただくために、日々試行錯誤を重ねています。



DUSKIN STYLE



つながる

訪問販売の活動や店舗での接点以外に、お客様の窓口として「コンタクトセンター」や「お客さまセンター」を設置。また、インターネットでの商品オーダーシステムの導入や会員サイトの充実など、お客様といつでもつながる身近で便利なダスキンを目指します。

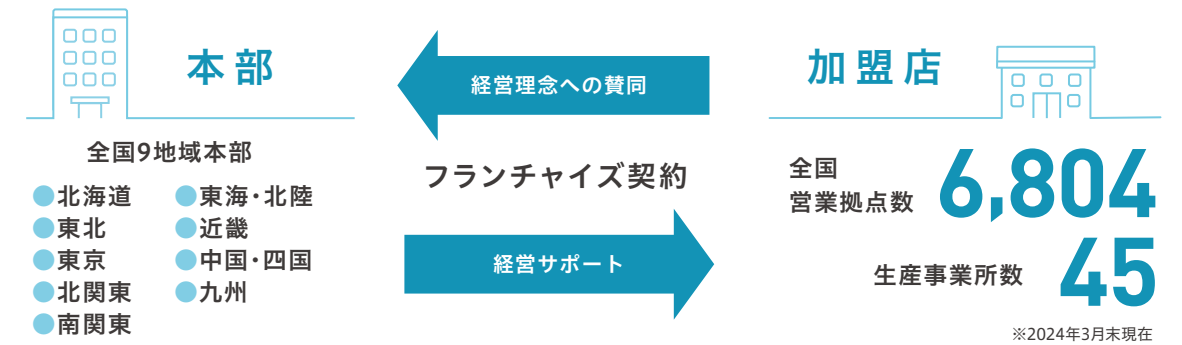
広げる

ダスキンは「フランチャイズシステム」を1964年にアメリカから持ち帰り、日本に根付かせました。その後、またたくまにビジネスフィールドを拡大。国や地域を問わず、あらゆる場所で信頼されるダスキンを目指します。



ダスキンのフランチャイズシステム

ダスキンは、多岐にわたる事業を独自のフランチャイズシステムで展開しています。
「フランチャイズ本部」と「加盟店」が同じ経営理念を共有し、共同事業の精神のもと、ともに成長を目指していく。
ビジネスという枠を超えた強い“絆”により、類いまれな結束力・組織力をもつのが、
ダスキンのフランチャイズの強みです。



人の生涯をテーマにした幅広い事業展開

時代とともに多様化していく暮らしをみつめ、毎日をより豊かに整えていきたい。
ダスキンは幅広い事業展開で、あらゆるライフステージのお客様一人ひとりに
しっかり寄り添い、サポートします。



お客様の声を聞くことが“原点”

ダスキンはお客様の声をなによりも大切にしています。
多様化するお客様のニーズにきちんとお応えするための仕組みを整えて、
厳しいご意見にもしっかり耳を傾け、お客様のお役に立てるようさらなる成長を目指しています。



ダスキンの事業

ダスキンは、日本全国に多様な事業の拠点・店舗を展開し、お客様のニーズにお応えする商品・サービスをお届けしています。

訪販グループ



クリーンサービス

清掃・衛生用品の
レンタルと販売

クリーンサービス事業 6つのカテゴリー (契約加盟数)

- ダストコントロール(1,823)
- クリーンサービス(1,568)
- エアークontrol(1,527)
- ウォーターコントロール(1,596)
- ワイプフルサービス(1,451)
- ドリンクサービス(724)



サービスマスター

プロのお掃除
サービス

1,194拠点



ターミニックス

害虫獣の駆除と
総合衛生管理

555拠点



メリーメイド

家事代行
サービス

798拠点



トータルグリーン

緑と花のお手入れ
サービス

176拠点



ホームリペア

住まいの
ピンポイント補修

105拠点



ユニフォームサービス

ユニフォームのリース・
販売とクリーニング

215拠点



ヘルス&ビューティ

自然派化粧品と
健康食品の販売

456拠点



レントオール

イベント総合サポートと
各種用品のレンタル

102拠点

(内、ベビー用品取扱:54拠点)



ヘルスレント

介護用品・福祉用具の
レンタルと販売

187拠点



ダスキン ライフケア

ご高齢者の暮らしの
お手伝い

95拠点

主な関係会社



(株)ダスキンヘルスケア

医療・福祉施設の
衛生管理



アザレプロダクツ(株)

化粧品製造
及び販売



共和化粧品工業(株)

化粧品販売



中外産業(株)

ユニフォームの
企画及び販売

フードグループ



ミスタードーナツ

手づくりドーナツと
多彩なメニュー

1,016店



モスド

ハンバーガーと
ドーナツのお店

1店

※(株)モスフードサービスと
資本・業務提携契約を締結
しています。

主な関係会社



(株)かつアンドかつ

飲食店経営



健康菜園(株)

飲食店経営



(株)エバーフレッシュ函館

冷凍食品製造

海外展開

世界から導入したビジネスモデルを
国や地域にあわせて進化させ、
成長著しいアジアを中心に
積極的に展開しています。



ダストコントロール、ケアサービス

世界に広がる「キレイ」の輪

1994年に台湾で海外展開を
スタート。2006年には経済
成長が著しい中国(上海)へ
進出し、家庭市場・事業所市
場の開拓を順調に進めてい
ます。

2地域

台湾、中国(上海)

25拠点



ミスタードーナツ

「おいしさ」は国境を越えて

タイ、フィリピン、台湾、インド
ネシア、シンガポールの5つ
の国と地域に出店。ミスター
ドーナツのおいしさは海外
でも愛されています。

5地域

タイ、フィリピン、台湾、
インドネシア、シンガポール

11,494拠点

(店舗1,784

コンビニエンスストア等 9,710)



ビッグアップル

海外ブランドとの融合

マレーシアを中心に展開して
いるドーナツブランド「ビッグ
アップル」を2017年に子会
社化し、これまで培ってきた
ダスキンのノウハウと融合し
て事業展開しています。

2地域

マレーシア、カンボジア

92店

※海外子会社営業拠点数(2023年12月末) ※ミスタードーナツ事業の拠点数は、マスターフランチャイズ契約先の店舗数を含みます。

※前期まで拠点数に含まれていた催事・期間限定販売等の店舗については、当期から削除しています。

※拠点数は稼働店舗数で掲載しています。(ミスタードーナツの海外拠点数は、一部休店店舗数が含まれます。)

※拠点数・契約加盟数・店舗数(2024年3月末現在/国内のみ)

※訪販グループの拠点数は事業加盟数です。 ※拠点数は、複数の事業を兼任する店舗があるため、実際の店舗数とは異なります。



ダスキンだから できること。

いろんな場所・かたちでいつもお客様のそばに、
街で一番頼れるダスキンでありたい。

だからこそダスキンはグループ一丸となって
「清潔・キレイ」のサポートをはじめとする幅広い事業展開で
お客様一人ひとりの想いに寄り添い、きちんとお応えします。



お客様一人ひとりの 「あたりまえの毎日」を まもるために。

訪販グループは、多様化するお客様の暮らしや働き方に合わせ
「ワークライフマネジメント」「高齢者サポート」「衛生」の
3つの領域において、長年培ってきたノウハウを活かし、
安心して快適な生活環境の実現を目指します。





衛生環境を整える
DUSKIN
クリーンサービス



清掃・衛生用品の
レンタルと販売

ご家庭やオフィス・店舗をいつも清潔・快適に。お客様係が訪問し、清掃・衛生用品のレンタルと販売をはじめ、お客様の暮らしや職場に合わせた快適な環境づくりをご提案します。

お客様のニーズに応える
定期レンタルサービス

ダスキンでは定期的にお客様先に訪問して商品をお届けしています。マネジャーやハーティなどと呼ばれるお客様係が、お客様のお困りごとをサポートします。

お客様係 約 **57,000**人
※2024年3月末現在



クリーンサービス事業

6つのカテゴリー

暮らしをキレイにする商品や、快適で衛生的な暮らしをサポートする商品、生活を便利にする商品など、お客様のお役に立ち、喜んでいただけるものを幅広くご用意しています。

ダストコントロール

契約加盟数:1,823

モップやクロス、マットなど、暮らしや環境の清潔・快適を維持する商品をお届けします。



クリーンサービス

契約加盟数:1,568

洗面所やトイレといった化粧室まわりのスペースを、清潔で衛生的に維持管理。快適な環境を高める衛生商品をお届けします。



エアーコントロール

契約加盟数:1,527

空気清浄機・脱臭機などのフィルターの定期交換と本体メンテナンスなどのサービスで、快適な空気環境をサポートします。



ウォーターコントロール

契約加盟数:1,596

定期的なカートリッジ交換で、浄水器、浴室用浄水シャワーなどを衛生的にお使いいただけます。



ワイプフルサービス

契約加盟数:1,451

産業用に開発した良質ウエスなどをお届け。製造・整備工場といった施設の環境づくりをトータルにサポートします。



ドリンクサービス

契約加盟数:724

本格コーヒーや天然ミネラルウォーターなどを定期的にお届け。便利なレンタルサーバーも取り扱っています。



ユニフォームのトータルサポート
UNIFORM SERVICE



ユニフォームサービス / 215拠点

ユニフォームのリース・販売とクリーニング

ユニフォームのリース・販売から、洗浄・メンテナンス・集配までトータルにサポート。多彩な業種に応じたユニフォームを多数取り揃えています。ユニフォームの洗浄では、抗菌剤を使用した洗浄方法で菌の増殖をしっかり抑制します。



自然-美しいエイジングのために
Health & Beauty



ヘルス&ビューティ / 456拠点

自然派化粧品と健康食品の販売

肌本来の美しさを引き出すスキンケア化粧品、自然素材にこだわった健康食品などを販売。美しく年齢を重ねたいお客様の毎日をサポートします。





プロのおそうじ
ServiceMASTER.
サービスマスター / 1,194拠点



プロのお掃除サービス

ご家庭のハウスクリーニングをはじめ、オフィス・店舗など事業所の清掃業務まで、お掃除に関するさまざまなお困りごとをプロの技術と資器材で解決します。



緑と花のお手入れ
TotalGreen
トータルグリーン / 176拠点



緑と花のお手入れサービス

ご家庭の庭木の剪定、雑草対策、病害虫防除、芝生の手入れなど定期的なメンテナンスを実施。事業所向けにも、植栽の管理・維持や観葉植物のレンタルなどのサービスを行っています。



害虫駆除・総合衛生管理
TERMINIX
ターミニックス / 555拠点



害虫獣の駆除と総合衛生管理

ご家庭や飲食店・オフィスに発生するゴキブリ・シロアリ・ネズミなどの害虫獣を、専門的な知識と技術を修得したプロが、人と環境に配慮した方法で駆除・予防します。



住まいの補修
HomeRepair
ホームリペア / 105拠点



住まいのピンポイント補修

壁の穴や床のキズ、ドアのへこみなどの部分的な補修をはじめ、住まいや事業所のさまざまなお困りごとにダスキンオリジナルの技術とサービスでお応えします。



家事の代行
merry maids.
メリーメイド / 798拠点



家事代行サービス

ご家庭に訪問し、きめ細かなサービスで、お掃除や日常のさまざまな家事をお手伝い。定期的に、また必要な時のみなど、お客様に合わせたプランをご用意しています。



新しい取り組み



暮らしの安心駆けつけ
DUSKIN RESCUE
ダスキンレスキュー

暮らしの駆けつけサービス

鍵の紛失時など、暮らしのトラブルに迅速に駆けつけ、確かな技術と安心のサービスで暮らしのお困りごとを解決します。



DUSKIN WASH
ダスキンウォッシュ

洗濯代行サービス

日々手間のかかる洗濯物を専用のランドリーバッグでお預かりし、個別に水洗い・タンブル乾燥をして、ご返却します。



レントオール / 102拠点
(内、ベビー用品取扱:54拠点)



事業所用



家庭用

イベント総合サポートと各種用品のレンタル

イベントの企画立案から設営・運営・撤収までをトータルにサポート。各種イベント用品をはじめ、ベビー用品や暮らしに関する商品など、幅広いアイテムのレンタルサービスも行っています。



ヘルスレント / 187拠点



家庭用

介護用品・福祉用具のレンタルと販売

ご利用者の自立と介助をサポートする介護用品・福祉用具のレンタルと販売。専門相談員が、生活環境や身体状況に応じた適切な商品をご提案します。



ダスキン ライフケア / 95拠点



家庭用

ご高齢者の暮らしのお手伝い

ご自宅や高齢者施設などにお伺いし、身体介護や家事支援、認知症の方のお世話など、ご高齢者とそのご家族のニーズに合わせたプランで、サービスをご提供します。



※公的介護保険適用外のサービスです。

訪販グループ／主な関係会社



(株)ダスキンヘルスケア

医療・福祉施設の衛生管理

院内・施設内の清掃をはじめ、医療用器材などの洗浄・滅菌、高度な衛生管理や物流業務の一元化まで。衛生的な環境づくりから、効率的な運営業務まで、トータルにサポートします。また、ニーズが高まっている感染対策を重視した専門性の高いサービスも行っています。



アザレプロダクツ(株)

化粧品製造及び販売

自社ブランド「アザレ」の化粧品や医薬部外品の製造と卸販売、他社OEM商品の製造を受託しています。処方開発から製造・品質管理に至るまで、化粧品の安全性を第一に考えた製品づくりを行っています。



共和化粧品工業(株)

化粧品販売

他社OEM関連の化粧品や医薬部外品、自社ブランド化粧品を販売しています。確かな技術と培われた経験でお取引様のさまざまなニーズにお応えし、ご満足度の高い製品づくりを追求しています。



中外産業(株)

ユニフォームの企画及び販売

ワーキングウェアを中心に、企業向けオリジナルユニフォームのデザイン企画から製造、在庫管理、販売を行っています。機能的で快適なユニフォームをお客様にご提供します。

誰もが、いつでも 「しあわせな時間」を 過ごせるように。

フードグループは、お客様のニーズに応える商品の開発や、
居心地のよい空間づくりとおもてなしを追求し続けます。
あらゆる世代のお客様に喜んでいただける、
新しいおいしさと楽しさをお届けします。



ミスタードーナツ
1,016店



手づくりドーナツと 多彩なメニュー

選ぶ楽しさ、ほおぼるしあわせ。ドーナツを
通じて「しあわせな時間」をお届けします。
誰もが、いつでも、訪れるたびに「いいこと」
と出会えるお店づくりを追求しています。



さまざまな商品・企画で 新たな価値を提供

ミスタードーナツでは、他ブランドと共同
で商品開発し、お客様に新たな価値との出
会いを提供する「misdo meets」や、朝も
昼も笑顔で過ごせる「ミスドゴハン」など、
新しいおいしさを追求。さらに「ミスドネッ
トオーダー」やデリバリーサービスで、より
便利に注文・テイクアウトができるよう
になりました。また、お客様のニーズに寄り
添い、ミスタードーナツアプリをリニュー
アルしました。

MESDO!
モスド / 1店

ハンバーガーとドーナツのお店

モスバーガーとミスタードーナツのコラボレーションショップ。
両ブランドのメニューを一緒に楽しむことができます。

※(株)モスフードサービスと資本・業務提携契約を締結しています。





(株)かつアンドかつ

飲食店経営

大阪を中心に、とんかつレストランを16店舗展開。柔らかくジューシーな豚肉や絶妙な食感を生む特製生パン粉など、厳選した素材を使用して、揚げたてのおいしさをご提供します。



健康菜園(株)

飲食店経営

北関東を中心に飲食店を展開する「株式会社ポストンハウス」とピザ生地等を製造する「株式会社美食工房」の管理統括会社です。主力ブランドの「ナボリの食卓」は、自社で開発したナポリピッツァを独自のサービスで提供するイタリアンレストランです。



(株)エバーフレッシュ函館

冷凍食品製造

「ミスタードーナツ」製品の製造を主に、その他、市場販売用の製品の製造など、外部OEMの受託も行っています。

ダスキンのあゆみ

創業前

1944

創業者・鈴木清一がワックスメーカーを創業。
「道と経済の合一」「祈りの経営」の第一歩を踏み出した。

1959

ビルメンテナンスや清掃用品の販売をしていた鈴木清一は、アメリカのDIA運動（企業の従業員と企業との民主的な関係によって、協力関係を強める運動）の創始者であるメルヴィン・J・エヴァンズ博士と出会い、自身が目指す企業経営との共通点を見出し、博士との親交を深めた。

さらに、エヴァンズ博士の紹介で出会ったカナダのリネンサプライ会社のメンデルソン氏から、ダストコントロールのノウハウを教わる。その後も、本格的なアメリカのフランチャイズについて学ぶなど、エヴァンズ博士との出会いは、ダスキンの成長につながる大きな起点となった。



エヴァンズ博士夫妻と鈴木清一



メンデルソン氏と鈴木清一

1963～

1963

株式会社ダスキンを設立。
ダストコントロール事業の第1回事業説明会を実施。
加盟店14店29名が参加。この時に、経営理念を発表。

ダストコントロール商品を製造・加工する吹田工場を設立。



吹田工場の開設記念集会

1964

家庭用第1号商品「ホームダスキン」が開発され、テスト販売を実施。



当時、加盟募集に使われていた冊子



ホームダスキン

人に、社会に寄り添い、 ダスキンは喜びのタネまきを広げています。

「冷たい水拭き掃除から日本の主婦を解放したい」の想いから始まったダスキン。
いつの時代もお客様の生活がより豊かになることを願い、歩み続けています。

1963~



日本の家庭に「おそうじ革命」

お客様のお困りごとを見つけ、解決するアイデア商品・サービスを続々と発売。早くから日本にフランチャイズシステムをとり入れ、全国のお客様にお届けする仕組みを確立しました。

訪販グループ

- 1963 「ダスキン」を設立/吹田工場開設/業務用第1号モップとマットを発売
- 1964 家庭用第1号商品「ホームダスキン」全国発売
- 1971 米・サービスマスター社と提携し、プロのお掃除を行う事業(サービスマスター)をスタート
- 1976 株式会社アガとの提携により化粧品販売を行う事業(現ヘルス&ビューティ)をスタート
- 1977 害虫駆除など環境衛生管理を行う事業(現ターミニックス)をスタート
- 1978 日本初となるスーツケースやベビーベッドなどのレンタルを行う事業(現レントオール)をスタート
- 1978 ユニフォームのレンタル事業(ユニフォームサービス)をスタート



フードグループ

- 1970 ミスタードーナツ事業創業
創業者・鈴木清一が日本での事業展開を決断した1月27日を、事業創業の日としています。
- 1971 ミスタードーナツ第1号箕面パイロットショップをオープン



1980~



地域・社会の持続的な発展に貢献

フランチャイズシステムによる全国展開とともに、社会貢献への取り組みも推進。すべての人が心豊かに暮らせる社会づくりのお手伝いを進めました。

- 1981 広げよう愛の輪運動基金(現公益財団法人 ダスキン 愛の輪基金)を発足



- 1987 日本の企業で初めてのIFA(国際フランチャイズ協会)「栄誉の殿堂賞」を受賞



訪販グループ

- 1982 医療関連施設のマネジメントサービス事業をスタート(現株式会社ダスキンヘルスケアにて運営)
- 1989 家事の代行を行う事業(メリーメイド)をスタート
- 1994 台湾でダストコントロール事業をスタート
- 1999 庭木の管理を定期的に行う事業(現トータルグリーン)をスタート



フードグループ

- 1989 タイ、フィリピンにおけるミスタードーナツのフランチャイズ営業権を取得
- 1999 とんかつレストラン「かつアンドかつ」第1号紫金山公園店をオープン



2000~



暮らしに新しい価値を提案

多様に変化するニーズやライフスタイルの変化に合わせたサービス・商品を提案。常に時代の変化とお客様の声に耳を傾け、快適な暮らしのサポートを拡大しました。

- 2006 東京・大阪 両証券取引所(当時)の市場第一部に上場

訪販グループ

- 2000 ご高齢者の家族介護をサポートする事業(現ダスキンライフケア)をスタート
- 2004 介護用品・福祉用具のレンタルと販売を行う事業(現ヘルスレント)をスタート
- 2006 中国(上海)でダストコントロール事業をスタート
- 2009 インテリアになじむ新しいデザインの「スタイルシリーズ」第一弾、「スタイルハンディ シュシュ」を発売
※「スタイルフロア ララ」、「スタイルクリーナー」は順次発売



フードグループ

- 2003 ミスタードーナツ「ボン・デ・リング」を発売
もちもち食感で大ヒット商品に
- 2004 台湾でミスタードーナツ第1号ショップをオープン※1
- 2008 株式会社モスフードサービスと資本・業務提携の契約を締結

2010~



社会課題の解決に挑む

衛生環境の整備がさらに求められる現在。これまで衛生サービスのプロとして積み上げてきた技術や経験を活かし、よりいっそう住まいや街の安全・安心をまもるお手伝いを進化させています。

- 2015 「ダスキンミュージアム」を創業の地(吹田市)にオープン



訪販グループ

- 2016 住まいの補修を行う事業(ホームリペア)をスタート
- 2019 新たな価値を共創する空間「ダスキンラボ」を開設
- 2020 家庭用レンタルモップが「抗ウイルス加工」と「抗菌防臭加工」のSEKマークを取得
- 2021 訪販グループのタグライン「衛生環境を整える」を新設



フードグループ

- 2010 モスバーガーとミスタードーナツのコラボレーションショップ「MOSDO」をオープン
- 2015 インドネシアでミスタードーナツ第1号ショップをオープン※2
- 2017 ミスタードーナツと他社ブランドとの共同開発商品「misdo meets」をスタート
- 2017 Big Apple Worldwide Holdings Sdn. Bhd.を子会社化
- 2023 シンガポールでミスタードーナツ第1号ショップをオープン※2
- 2024 健康菜園株式会社を完全子会社化



ダスキンの
サステナビリティ
活動について
<https://www.duskin.co.jp/sus/>



人に、社会に、 そして未来に「喜びのタネ」を。

ダスキンは、創業以来継承してきた
“社会からの期待に喜びを持って応える”という想いで、
経営理念を共有・実践し、社会の持続的な発展への貢献を目指しています。
わたしたちは今後も、サステナビリティに関する課題に取り組み、
企業価値の向上を目指してまいります。

【SDGsへの貢献】



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

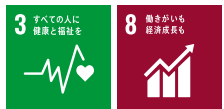
「SDGs」とは…

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、
2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標。
地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。



経済価値の向上を目指して

創業以来、衛生的で快適な環境づくりのお役に立つことを目指してきた
訪販グループと、お客様に安全・安心にご利用いただくことを最優先
に取り組んできたフードグループ。それぞれの事業特性を活かして、
多様化する社会ニーズに応えていきます。



訪販グループ

ワークライフマネジメント領域



生活者の暮らし方や働き方が多様化し、在宅時間の充実や家事・仕事の効率化に対するニーズが高まっています。家事代行やプロのお掃除等の役務サービスをはじめ、付加価値の高い商品・サービスを開発し、働く方とそこそご家族の暮らしをサポートします。

高齢者サポート領域



高齢者のさまざまなニーズにお応えする介護用品・福祉用具レンタルや介護サービスをご提供しています。さらに、公的介護保険外のきめ細かな暮らしをお手伝いするサービスやアクティブシニア向けのサービスなどをご提案していきます。

衛生領域



お客様の暮らしや事業運営に「清潔・キレイ」をお届けし、衛生的で快適な環境づくりをサポートします。また、イベントや学校等の衛生マネジメントに注力し、「お掃除のダスキン」から「衛生環境を整えるダスキン」への進化に取り組んでいます。

フードグループ



主力事業のミスタードーナツでは「いいことあるぞ」をスローガンに誰もがいつでも「しあわせな時間」を過ごせるお店を目指し、おいしさ、楽しさの提供を追求しています。店舗では、利便性、快適さの更なる向上のため、新たな立地条件での出店、ネットオーダー導入等を実施。また、他社とのタイアップ等マーチャンダイジングにも注力しています。環境保全面ではプラスチック使用量やフードロス、CO₂排出量の削減目標を明確にして取り組んでいます。



社会価値の向上を目指して

社員一人ひとりが、やりがいを持っていきいきと働けるように。多様な人材を積極的に登用するとともに、健康的に個々の能力を最大限発揮できる環境づくりに努めています。また、人と人とのつながりや地域社会とのパートナーシップを大切にしたさまざまな取り組みも行っています。



ダイバーシティ&インクルージョンの推進

多様な個性を認め、
それぞれがいきいきと
働ける職場へ

ダスキンのダイバーシティは、性別・年齢・国籍・キャリア等の違いにかかわらず、お互いを尊重し、個々の能力を発揮できる職場風土を醸成することです。変化する事業環境や多様化する顧客ニーズに対応し、新たな価値や優位性を生み出し続ける会社を目指します。

管理職に占める女性割合
13%以上を目指す



女性管理職比率(人数)

14.3%(52名)

※2024年3月末現在 / ダスキン単体

障がいのある方のさらなる
雇用拡大と定着を図る



障がい者雇用率(人数)

2.7%(63名)

※2023年6月1日現在 / ダスキン単体

働き方改革と健康経営の推進

ワーク・ライフバランスを実現する労働環境の整備

社員が働きやすい職場づくりのため、2023年2月に厚生労働大臣より「子育てサポート企業」として2度目の「くるみん」認定を取得しました。すべての社員のワーク・ライフバランス実現に向け、職場環境の整備・意識改革に努めています。



健康経営優良法人2024 ホワイト500に選定

8年連続で健康経営優良法人に認定。ホワイト500は、6回目の認定となります。今後も会社(事業所)・健康保険組合・労働組合による三位一体の体制で、社員とその家族の健康維持・増進に取り組んでいきます。



地域との共存・共栄

学校教育支援活動の推進



2000年より、学校教育支援活動を推進。学校の掃除時間を“子どもたちの力を伸ばす時間”として活用するため、現職の先生方と研究を行い、小学生向け出前授業「キレイのタネまき教室」や、教員セミナー「子どもたちの力を伸ばす学校掃除セミナー」など、学校現場の要望に応じた活動に取り組んでいます。



「キレイのタネまき教室」

12年間 4,345校

※2024年3月末現在

ダスキン愛の輪基金で支え合い、
共に成長できる社会福祉へ



1981年、国連の国際障害者年に発足した「公益財団法人ダスキン愛の輪基金」は、大きく2つの事業を実施しています。設立当初から実施している「ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業」は、地域社会のリーダーとして貢献したいと願う障がいのある若者を海外に研修派遣する事業です。1999年に開始した「ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業」では、アジア太平洋地域の国と地域から障がいのある若者を日本に招くなど、社会福祉を担う人材育成を支援しています。



ダスキン障害者リーダー育成
海外研修派遣事業



ダスキン・アジア太平洋
障害者リーダー育成事業

43年間 538名 23年間 147名

※研修生人数はいずれも2024年3月末現在(研修中も含む)

ダスキンミュージアムで、
「キレイ」と「おいしい」を体感



2015年に創業の地に開設したダスキンミュージアムでは、ダスキンの歴史を感じながら「キレイ」と「おいしい」を体感いただけます。お掃除の歴史の展示や、体感型シアターアトラクション「ダスキングダストバスターズ」で、楽しみながらお掃除について学べる「おそうじ館」と、ミスタードーナツの歴史やこだわりを紹介し、ドーナツづくりも体験いただける「ミスドミュージアム」を備えています。



ミスドキッチン



ダスキングダストバスターズ



来館者数

9年間 431,427名

※2024年3月末現在



環境価値の向上を目指して

循環型社会の形成に貢献していくために、ライフサイクル全体で3R(リデュース、リユース、リサイクル)+リニューアブル(資源の有効活用)を推進しています。また、脱炭素社会や自然共生社会、環境負荷が少ない社会づくりに向けて、環境課題の解決に積極的に取り組んでいます。



環境方針

私たちはサステナブルを目指す企業として環境保全と企業経営の両立に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献していきます。

循環型社会づくりへの貢献

廃棄物削減、資源の有効活用

- 循環型レンタルシステムの追求
- 食品ロスの削減と食品廃棄物リサイクルの推進
- プラスチック容器包装の3Rとリニューアブル(資源の有効活用)の推進

脱炭素社会の実現に向けて

気候変動への対応

- CO₂排出量の削減
- 再生可能エネルギーの利用拡大

環境負荷の低減に向けて

環境マネジメントシステムによる断続的な改善

- 環境に配慮した商品・サービスの開発
- ISO14001基準の環境配慮改善及びそれに準ずる基準で管理
- 環境教育による人材の育成

人と自然の共生に向けて

水資源、生物多様性の保全

- 用水リサイクルと水質保全の推進
- 生態系保全活動の推進
- 化学物質管理と汚染の未然防止

環境目標

ダスキンでは、2030年度までの環境経営における目標として「ダスキン環境目標2030(DUSKIN Green Target 2030)」を掲げています。

循環型社会づくりへの貢献

2030年度目標

- 食品ロス量 **半減**(2000年度比)
- 化石資源由来ワンウェイプラスチック **25%排出抑制**(2020年度比)
- 容器包装プラスチックリサイクル率 **60%**

脱炭素社会の実現に向けて

2030年度目標

- 再生可能エネルギー利用率 **50%**
- ダスキングループ拠点のCO₂排出量 **46%減**(2013年度比)
- Scope3(サプライチェーン排出量) **26%減**

循環型社会づくり

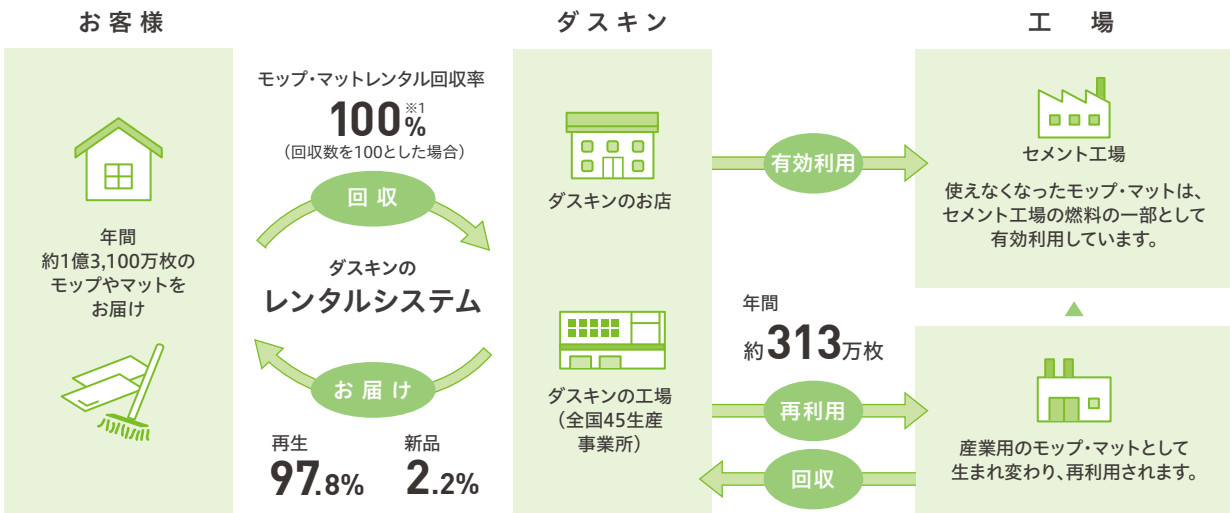
清掃用具のレンタルシステムを日本に定着させたダスキンは、ものを大切に、くりかえし使う、みんなで使う、減らす、捨てないという発想で、限られた資源の有効利用に努めるとともに、環境に配慮した事業展開を推進しています。



モップ・マットの再商品化

使用済みのモップやマットを回収し、工場での洗浄を経て97.8%を再商品化しています。

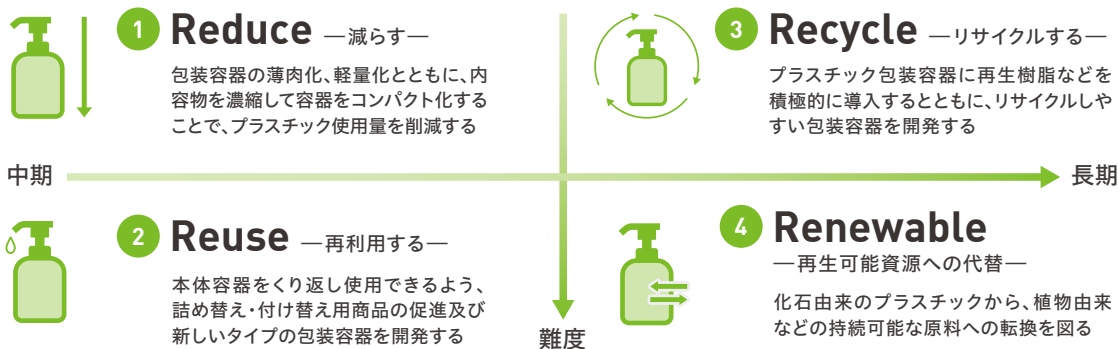
ダスキンのレンタル循環システム



※2024年3月末現在

容器包装プラスチック削減に向けた取り組み

容器包装プラスチックのライフサイクル全体を通じた資源有効活用と環境負荷低減に向けた取り組みを推進していきます。



株式会社アールプラスジャパンに資本参加

世界で問題視されている海洋プラスチックごみに起因する廃プラスチック問題に対して、企業としての社会的責任を果たし、国の定めたプラスチック資源循環戦略に対応していくために、2020年6月に事業を開始した共同出資会社「株式会社アールプラスジャパン」に資本参加。使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組んでいます。

ミスタードーナツの取り組み

ミスタードーナツでは、「エコとりくむド」をスローガンに、「省エネ」「省資源」「廃棄物削減」「リサイクル」をテーマとし、環境保全への取り組みを行っています。

<プラスチック使用量の削減>



※1:店内でご飲食されるお客様に提供。一部ショップは除く。 ※2:一部バイオマス原料を使用した樹脂製のストロー ※3:有料のレジ袋もご用意しています。

<食品リサイクル活動>

ドーナツのリサイクル

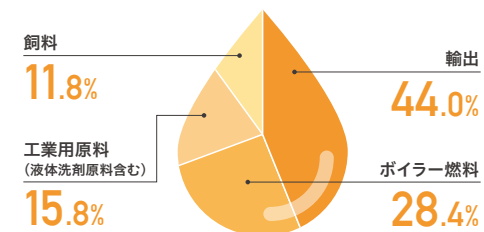
ミスタードーナツでは、製造スケジュールや廃棄チェックリストの徹底管理で、食品ロスが少しでも減るよう努めています。それでも残ってしまったドーナツは、飼料として活用しています。



※一部ショップを除く

ドーナツ調理オイルのリサイクル

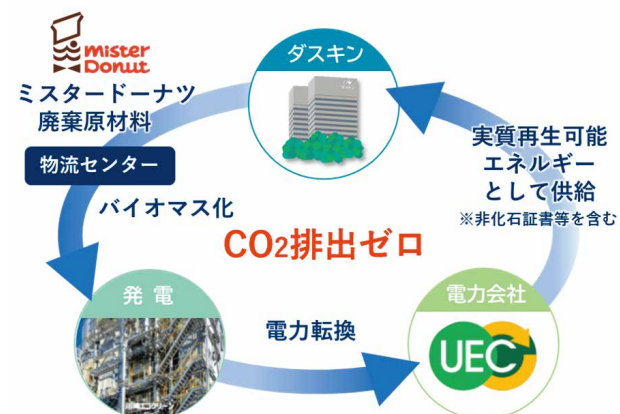
古くなったドーナツ調理オイルは、工業用の原料や飼料としてリサイクルしています。一部地域では、マットやモップを洗浄・再生するダスキンの工場でボイラー燃料としても活用しています。また、バイオ燃料用として海外へ輸出することでリサイクル率100%を実現しています。



※2023年4月～2024年3月実績

廃棄原材料の一部をエネルギー化

ミスタードーナツの物流センターや他ラインから発生する廃棄原材料で発電するバイオマス電力を使用することで、資源が無駄なく循環するリサイクルループが構築され、ダスキン本社ビルを含む周辺施設5拠点で実質再生可能エネルギー100%の電力を利用しています。



気候変動への対応

ダスキン営業車両EV化の実証実験

EV(電気自動車)に切り替えることによる環境負担軽減効果やランニングコスト、実用性等について実証実験で得られた結果を基に、EVシフト計画を作成し、脱炭素社会の実現に取り組みます。



実証実験で使用するテスト車両「ASF2.0」

太陽光発電システムの導入

ダスキンの直営拠点では、再生可能エネルギーの使用により化石由来のエネルギーの削減に努めています。研修施設であるダスキンスクールでは、壁面ガラスの一部に太陽光発電パネルを採用。大阪中央工場では、太陽光発電システムを導入し、約350枚のモジュールを設置して、最大出力100kWh規模の発電を行っています。



大阪中央工場屋上

フードグループのショップでの取り組み

ミスタードーナツ及びフードグループの各店舗では、お客様にとって快適な空間の維持に配慮しながら、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。空調の設定温度や照明の必要箇所の見直し、バックエリアのこまめな消灯や水道光熱メーターの管理、ショップでのオペレーションの見直しによる省エネ化、またLEDライトや省エネ機器を導入するなど環境への負荷を低減しています。



ミスタードーナツ店舗でのLED照明の導入

TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)への賛同

ダスキンは、FSB(金融安定理事会)により設置されたTCFDの提言に賛同し、気候変動に関連するリスクや機会の分析を行うとともに、積極的な情報開示を進め、持続可能な社会に貢献していきます。



水資源・生物多様性の保全

水資源の保全・有効活用

モップやマットの洗浄工程で多量の水を使用する生産事業所では、加工時における標準使用量を基準値として、取水量の管理・削減に努め、第三者保証を継続して受けています。また、使用後の汚れた水は社内の廃水処理ライセンス取得者による管理のもと、工場内で水処理を行い、法令基準よりも厳しい独自の排出基準に適合させて放流しています。



排水処理設備

自然保護の取り組み

ダスキンは、白山国立公園の登山道などにマットを42枚設置し、生態系保護の取り組みに協力。登山者の靴底に付着した外来植物の種子持ち込みを防ぐために、土砂の捕集性と耐久性に優れたマットが活用されています。



写真提供:環白山保護利用管理協会



企業価値の向上を目指して

さまざまなステークホルダーの期待に応え、中長期的な企業価値向上を図りつつ持続的な成長を果たす企業となるため、コーポレート・ガバナンスの強化を経営の最重要課題と捉えています。また、すべての企業活動の基本に「コンプライアンス」を据え、企業価値の持続的な向上を目指しています。



コーポレート・ガバナンスの5つの特徴

取締役における
社外取締役の割合

33%

取締役9名のうち、
3名が社外取締役です。



取締役評価検討会の設置

取締役評価・選任の客観性と透明性を確保するため、取締役会の諮問機関として、独立役員のみで構成する「取締役評価検討会」を設置しています。

取締役に占める
女性比率

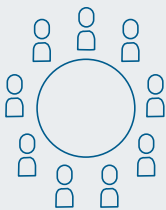
33%



女性の積極的な選任により取締役会の多様性に配慮するとともに、当社の企業成長に不可欠な女性の活躍を推進しています。

取締役会の
出席率 100%

社外取締役も含めた各取締役は、取締役会に毎回出席し、当社の経営や業務執行に関して活発な議論を行っています。



取締役会において 重要案件の審議が十分できる体制を構築

執行役員制度を導入し、権限委譲を進めることで業務執行の迅速化を図るとともに、取締役会は重要案件の審議と業務執行の監督に専念する体制としています。

※2024年3月期

コンプライアンス／知的資産

ダスキンのコンプライアンス

ダスキンではコンプライアンスを「相手の身になって考え、行動すること」と捉え、お客様や社会から信頼されるために、「ダスキン行動基準」を制定。役員・社員全員が、日々の業務の中で実践しています。



ダスキン行動宣言

「信頼される誠実な企業」
を目指して

- ① 私たちは常に、お客様の立場に立って行動します。
- ② 私たちは常に、法律を守って行動します。
- ③ 私たちは常に、社会の良識にかなった行動をとります。
- ④ 私たちは常に、自分に対して誇りを持てる行動をとります。

知的財産の保護

知的財産の保護は事業活動に不可欠と考え、事業の展開に応じて権利取得を積極的に推進。第三者による当社の知的財産権の侵害を発見した場合は、関連する法規に基づいて適切な対応を行っています。

〈知的財産の保有件数〉

【特許】	国内／147	海外／5
【意匠】	国内／70	海外／14
【実用新案】	国内／2	
【商標】	国内／360	海外／244

※2024年3月末現在

ステークホルダー・エンゲージメント



お客様のニーズに寄り添った 商品・サービスの提供を目指す

お客様の声を直接お聞きするため、ファンミーティングを全国各地で定期的に開催。ダスキンの役員をはじめミスタードーナツの本部・地域スタッフや加盟店オーナーが、お客様のご意見やご要望を直接お伺いし、商品・サービスの改良・改善につなげています。

個人投資家向け会社説明会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から従来の対面での説明会を見直し、オンラインでのライブ配信に変更。さらに、オンデマンド配信を取り入れることで感染リスクを減らしつつ、より多くの個人投資家の方に視聴していただくことが可能となりました。

説明会
延べ視聴者数 6,267名

※2024年3月期

仕入先様向け商品・サービス開発方針説明会

取引先企業とのパートナーシップの強化を図るために、品質方針やコンプライアンスの取り組みとともに、事業計画（商品サービス開発方針・購買方針）の情報を共有しています。訪販グループはオンデマンド配信にて説明会を開催しました。

訪販グループ
説明会参加企業 198社
ミスタードーナツ事業本部
説明会参加企業 71社

※2024年3月期

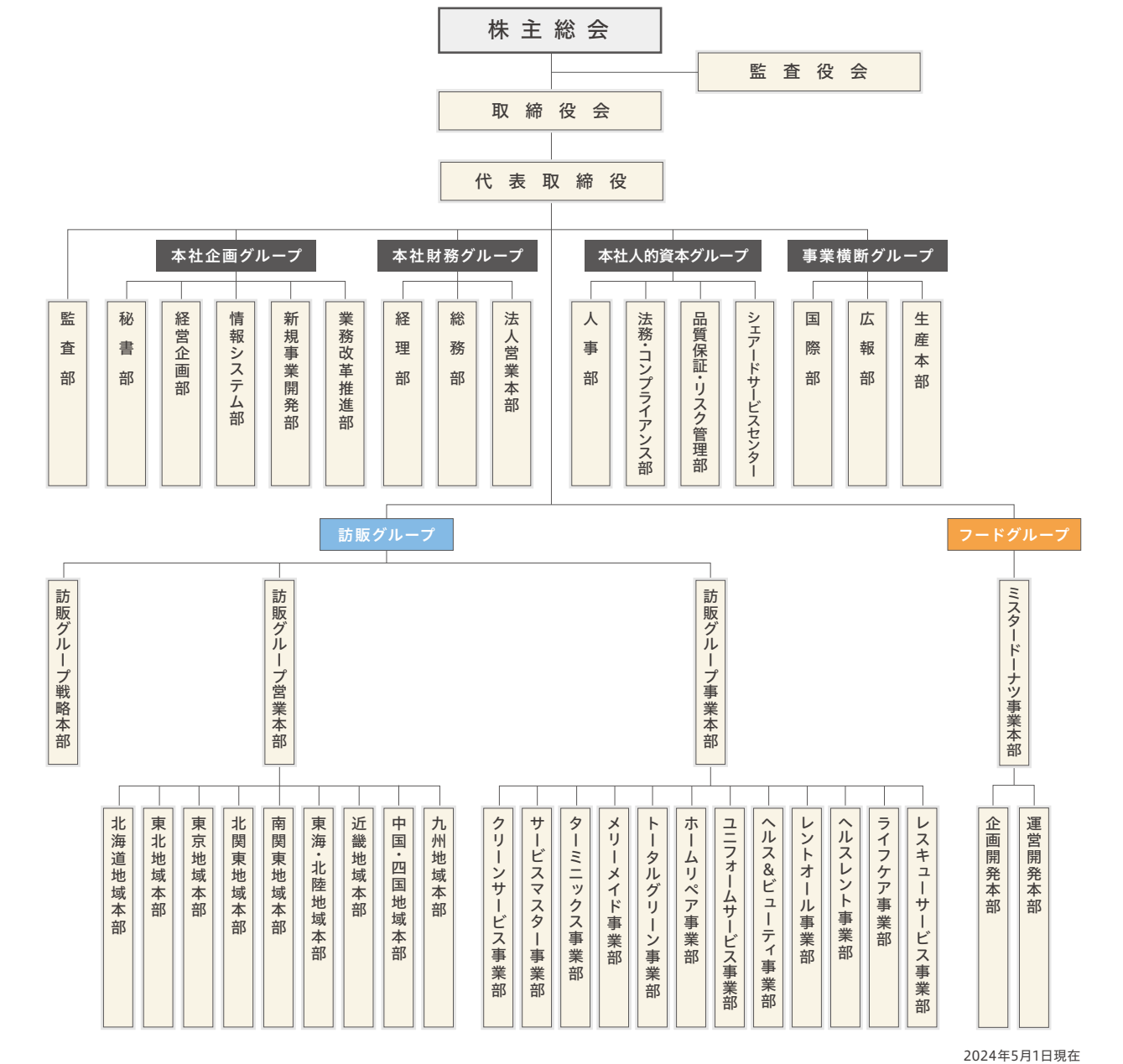
会社概要

社名	株式会社ダスキン【DUSKIN CO., LTD.】	設立	1963(昭和38)年2月4日	全国チェーン店 お客様売上高	4,324億円 (2024年3月期)
本社	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1番33号	資本金	113億円	従業員数	3,792名 連結 1,988名 単体
代表者	代表取締役 社長執行役員 大久保 裕行	売上高	1,787億円 (2024年3月期)連結 1,465億円 (2024年3月期)単体		2024年3月末現在

役員	会長	山村 輝治	取締役 執行役員	上野 進一郎	常勤監査役	内藤 秀幸	執行役員	根本 誠之	飯田 健司
	代表取締役 社長執行役員	大久保 裕行		江村 敬一		塚本 浩司		叶 英之	井出 丈晴
	取締役 COO	住本 和司	社外取締役	辻本 由起子	社外監査役	猿木 秀和		母里 和己	山本 一成
		和田 哲也		武藏 扶実		坂本 一郎		大工原 徹次	松重 泰子
	取締役 CFO	宮田 直人		中川 理恵		山本 成一郎		福島 剛	

2024年6月26日現在

ダスキングループ組織図



関係会社

2024年3月末現在

■ 訪販グループ ■ フードグループ ■ その他

〈連結子会社〉

国内

■ (株)ダスキンサーヴ北海道

■ (株)ダスキンサーヴ東北

■ (株)ダスキンサーヴ北関東

■ (株)ダスキンサーヴ東海北陸

■ (株)ダスキンサーヴ近畿

■ (株)ダスキンサーヴ中国四国

■ (株)ダスキンサーヴ九州

■ (株)ダスキン沖縄

■ (株)ダスキント和田

■ (株)ダスキン宇都宮

■ (株)ダスキン伊那

■ (株)ダスキン越前

■ (株)ダスキン八代

■ (株)ダスキン鹿児島

■ (株)ダスキンシャトル東京

■ アザレプロダクツ(株)

■ 共和化粧品工業(株)

■ 中外産業(株)

■ (株)EDIST^{※1}

■ (株)和倉ダスキン

■ (株)小野ダスキン

■ (株)ダスキンプロダクト北海道

■ (株)ダスキンプロダクト東北

■ (株)ダスキンプロダクト東関東

■ (株)ダスキンプロダクト西関東

海外

■ (株)ダスキンプロダクト東海

■ (株)ダスキンプロダクト中四国

■ (株)ダスキンプロダクト九州

■ エムディフード(株)

■ エムディフード東北(株)

■ エムディフード九州(株)

■ (株)かつアンドかつ

■ (株)エバーフレッシュ函館

■ 健康菜園(株)

■ (株)ボストンハウス

■ (株)美食工房

■ ダスキン共益(株)

■ (株)ダスキンヘルスケア

海外

■ 楽清香港有限公司^{※2}

■ 楽清(上海)清潔用具租賃有限公司

■ Big Apple Worldwide Holdings Sdn. Bhd.

〈持分法適用関連会社〉

国内

■ (株)ナック

■ (株)JPホールディングス

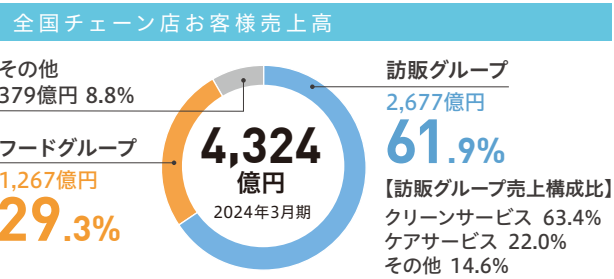
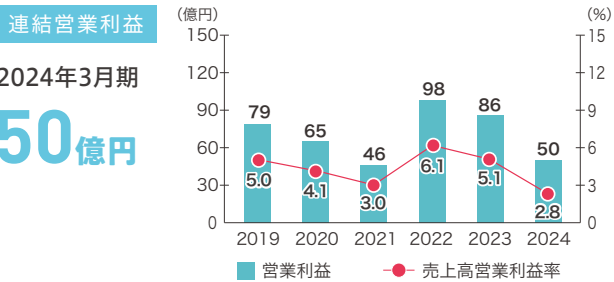
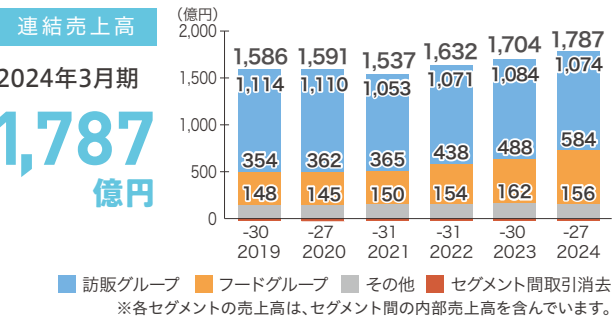
海外

■ 楽清服務股份有限公司

■ 統一多拿滋股份有限公司

※1:株式会社EDISTは、2024年3月31日をもって営業を終了し、現在清算手続き中です。
※2:2022年7月28日開催の取締役会において、楽清香港有限公司の解散を決議しています。
現地の法令に従い必要な手続きが完了次第、清算終了となる予定です。

業績ハイライト



※国内外の直営店・子会社売上高及び加盟店推定売上高の合計を参考数値として記載しています。

沿革

1963	2月	株式会社サニクリーンを設立登記
	11月	ダストコントロール商品の初の生産拠点、吹田工場開設
1964	6月	株式会社ダスキンに社名変更
	10月	化学ぞうきん「ホームダスキン」全国発売開始
1967	9月	モップ縫製工場開設(現株式会社和倉ダスキンにて運営)
1969	8月	IFA(国際フランチャイズ協会)に、日本初のメンバーとして入会
1971	1月	サービスマスター事業を開始
	4月	ミスタードーナツ事業を開始。大阪府箕面市に1号店をオープン
	7月	ホームダスキンの廃却布を再生した産業用ウエスのレンタルスタート
1976	11月	株式会社アガとの提携により、化粧品販売事業(現ヘルス&ビューティ事業)を開始
1977	4月	害虫駆除等環境衛生管理事業(現ターミニックス事業)を開始
1978	1月	マット製造工場開設(現株式会社小野ダスキンにて運営)
	10月	家庭用品の総合レンタル事業(現レントオール事業)を開始
	12月	ユニフォームレンタル事業(現ユニフォームサービス事業)を開始
1982	7月	医療関連施設のマネジメントサービス事業を開始(現株式会社ダスキンヘルスケアにて運営)
1989	7月	メリーメイト事業を開始
1990	9月	本社ビル「ダスキンピア」が現在地に完成
	9月	株式会社エバーフレッシュ函館設立
1993	10月	新たなフランチャイズシステム「ダスキンサーヴ100」活動スタート
1994	12月	台湾でのダストコントロール事業を開始
1999	2月	かつアンドかつ事業を開始
	4月	ケータリング事業(現ドリンクサービス事業)を開始
	11月	トゥルグリーン事業(現トータルグリーン事業)を開始
2000	6月	ホームインステッド事業(現ダスキン ライフケア事業)を開始
2003	4月	品質保証体制構築のため「品質保証委員会」設置(現サステナビリティ委員会※2021年5月1日改称)
	4月	コンプライアンス体制構築のため「コンプライアンス推進会議」設置(現コンプライアンス委員会)
2004	7月	ヘルスレント事業を開始
	9月	三井物産株式会社との包括的な資本・業務提携契約締結
	10月	台湾でのミスタードーナツ事業を開始
2006	5月	リスクマネジメント体制構築のため「リスクマネジメント委員会」設置
	11月	中国(上海)でのダストコントロール事業を開始
	12月	東京証券取引所・大阪証券取引所の各市場第1部に上場 ※東京証券取引所と大阪証券取引所は、2013年7月16日に現物市場を統合
2008	2月	株式会社モスフードサービスと資本・業務提携契約締結
2010	10月	アザレプロダクツ株式会社及び共和化粧品工業株式会社の両社を完全子会社化
2014	3月	中外産業株式会社を完全子会社化
2015	10月	ダスキンミュージアムを開設
2016	4月	ホームリペア事業を開始
2017	2月	Big Apple Worldwide Holdings Sdn. Bhd.を子会社化
2018	9月	株式会社ナックと資本・業務提携契約締結
2019	1月	株式会社かつアンドかつを設立
2022	4月	東京証券取引所の市場区分の見直しにより、東京証券取引所の市場第一部からプライム市場に移行
2023	11月	株式会社JPホールディングスと業務提携
2024	1月	健康菜園株式会社を完全子会社化